

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

東の風



平戸市立田平東小学校
学校便り

やさしく
かしこく
たくましく

No.55

平成29年10月20日(金)

文責：園田

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

汗を流し、働いた分、人の温かさに触れた分



子ども達の、心も豊かに実る

下亀中山間地域事業の方々に教えて頂き、春に植えた稲の苗が大きく育ち、豊かな黄金の実をつけました。そこで、今回も下亀中山間地域事業、11名の皆様に教えて頂きながら雨模様の天気の間をぬって、5年生が稲刈りを行いました。夜半の雨で地面はぬかるんでいます。空はどんより曇り空。この後、雨が降ってくる予報が出ています。そのため、手際よく作業を進めなければいけません。

下亀中山間地域事業の方々にあいさつをし、靴を脱ぎ、軍手をして鎌をもって準備します。稲の刈り方や刈った稲の置き方を教えて頂き、さあ、張り切って作業に取り掛かります。

稲をぐっと掴み、思い切って鎌を引きます。

ザクッ!

鎌を握る手に伝わる感触。耳に響く音。そのどちらもが、まさに「ザクッ!」です。子どもに感想を聞くと、「気持ちいいです!」と返事。私もこれまで何回も経験してきましたが、稲を刈る感触はなんとも言えない心地よさがあります。写真やテレビでは絶対にわからない五感で感じる感触です。



ぬかるんだ地面に時折足を取られながらも、しっかりと腰を下ろし、真剣な眼差しと笑顔が入りまじった中で、夢中で作業をした子ども達。

次の作業は刈り取った稲を束にして干し竿にかけていきます。束ね方にも干し方にも工夫があり技術が潜んでいます。それらを丁寧に教えて頂きながら、無事、作業を終えることができました。

そこには真剣・集中。そして一生懸命・一所懸命、更には仲間と共に協力し合っという一緒懸命(私の造語です。)な学びの姿がありました。



種もみの選別から始めた稲作の学習。「稲」の語源は「命の根」という説もあります。命(作物)の素晴らしさや働くことの大変さ、尊さ、そこにある知恵や工夫、技術。携わる方々の思い。そして自分達に関わり、教えてくださることへの感謝の思い。子ども達が自分の宝物として感じられること、学べることは山ほどありました。それができるのも、子ども達のために関わってくださる方々がいらっしゃるからこそです。

下亀中山間地域事業の皆様、ご多用の中、ご指導・ご協力いただき誠にありがとうございました。また脱穀の際にはお世話になります。よろしくお願ひします。

子ども達は「11月の学習発表会にはぜひお越しください。」と手作りの案内状をお渡ししました。

(稲作に関する発表も行う予定です。)

